


レジメン番号	0005	レジメン名	R-CHOP(1 日間)
登録診療科	血液・腫瘍内科	使用薬剤	リツキサン/リツキシマブ BS、 エンドキサン、ドキシソルビシン、 オンコビン、プレドニゾロン
がん腫	悪性リンパ腫	インターバル日数	21 日または 14 日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量／体表面積	投与 方法	患者 投与量	Day1 ( / )	…Day21(または Day14)	Day1 ( / )
リツキサン/リツキシマブ BS 375 mg/m <sup>2</sup>	点滴	mg	↓	3 週間または 2 週間を 1 コース	↓
エンドキサン(CPA) 750mg/m <sup>2</sup>	点滴	mg	↓		↓
ドキシソルビシン(DXR) 50mg/m <sup>2</sup>	点滴	mg	↓		↓
オンコビン(VCR) 1.4mg/m <sup>2</sup> (最大 2mg/body)	静注	mg	↓		↓
プレドニゾロン(PSL) 100mg/body または 40mg/m <sup>2</sup>	経口	mg	Day1～5		↓

(支持療法)

※1 経口剤あり

A) アロキシ(0.75) B) グラニセトロン(1)	静注	 mg	↑	3 週間または 2 週間を 1 コース	↑
--------------------------------	----	--	---	---------------------	---

【当日の投与方法】

薬品名		規格	希釈液/量	投与速度/方法
①リツキサン/リツキシマブ BS		100mg	生食で 10 倍に希釈	※2 下記参照/輸注ポンプ
		500mg		
②エンドキサン		100mg	生食 250mL	60 分/点滴
		500mg		
③ドキシソルビシン		10mg	生食 100mL	15 分/点滴
④オンコビン		1mg	生食 50mL	5 分/点滴
⑤	アロキシ	0.75mg	生食 20mL	静注
	または グラニセトロン	1mg		
⑥プレドニゾロン	経口	5mg		経口

投与間隔≫ (メインルート/  
持続)※3 (側管) (側管/静注) (側管/5 分) (側管/15 分) (側管/60 分)

投与順番≫ ⑦ → ① → ⑤ → ④ → ③ → ② → 終了

【備考】

※1 リツキサン/リツキシマブ BS 投与前、解熱鎮痛剤及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※2 初回投与時は、最初の 30 分は 50mg/時の速度で点滴静注を開始し、患者の状態を十分観察しながら、  
その後注入速度を 30 分毎 に 50mg/時ずつ上げて、最大 400mg/時まで速度を上げることができる。

また、2 回目以降の注入開始速度は、初回投与時に発 現した副作用が軽微であった場合、100mg/時まで上げて  
開始し、その後 30 分毎に 100mg/時ずつ上げて、最大 400mg/時まで上げることができる。

※3 ⑦メインルート：5%ブドウ糖 250mL